

## 第5学年 総合的な学習の時間学習指導案

期 日 平成15年11月11日～12月9日

児 童 花巻市立花巻小学校 第5学年

指導者 三浦多恵子 赤坂 江 近藤 純一

- 1 主題名 「お米が主役だ！」  
- ミニ米の物知り博士になろう -

### 2 題材設定の理由

#### (1) 教材観

本単元は、本校における第5学年の目標「地域を支える産業に目を向け、環境の保全、生命の大切さへの関心を持つ」をねらいとして設定したものである。

花巻地方は、北上川・猿ヶ石川・豊沢川の三つの流れがもたらしてくれる水によって、昔から稲作が盛んであった。そして、米は人々の命をつなぐ大切な食料であった。しかし、米は食料としての役割を担っているだけでなく、年貢として税金の役割をもっていたり、国の豊かさを示すものでもあり、豊作を祝うお祭りなど日本人の生活と昔から密接なつながりのあるものでもあった。それに、稲作は環境保全の面からも大事なものである。

しかし、本校は市街地に位置し農業体験のある児童はほとんどいない。そこで、5年生での社会の学習と関連させながら、田植えの体験や稲の観察から広がる児童の疑問を課題とし、追求させることによって、地域の産業や自然、またそれに伴う動植物の命にも目を向けさせることが出来るのではないかと考え本主題を設定した。

#### (2) 児童観

児童は、本主題において次のテーマを設定し、インタビューやインターネット、見学などの方法で課題を追求してきた。

- |           |             |
|-----------|-------------|
| ・農具について   | ・世界の伝統的な米料理 |
| ・米に害を与える虫 | ・稲の病気対策     |
| ・田に住む虫    | ・米の種類       |
| ・世界の米     | ・環境         |
| ・外国の農法    | ・アイガモ農法     |
| ・米のルーツ    | ・米の栄養       |

これまでの活動をとおして児童は、自分の課題を解決していく方法や手順を少しずつ理解してきている。しかし、解決したことを自分なりの方法でまとめ表現していく力や、聞き手を意識して自分の意図を分かりやすく発表する力、解決した結果を発表・交流し、互いのよさを認め合ったりする力は十分育っているとは言い難い。

そこで、今まで収集してきた情報を発表資料にまとめ交流する学習をとおして、発表する力・表現する力・意見を交流し合う力と共に、お互いを認め高め合おうとする態度を育成していきたい。

#### (3) 指導観

「発表の方法を知ろう」では、パネルや新聞・コンピュータを使ったプレゼンテーションの方法を教師側から提示し、児童に自分たちの興味・関心や発表内容に合わせて発表資料作成の方法を選択させるようにする。

「発表資料の作り方を学ぼう」で、コンピュータを選択したグループには基本操作を習得させ発表資料の作成が出来るように時間を確保する。また、パネルや新聞を選択したグループには、聞き手を意識した資料の作り方について学習させ、より効果的な発表資料の作成ができるように

していきたい。

それぞれの発表資料作成方法を習得させた後に、「発表資料を作ろう」で、グループごとに収集した情報を選択しながら、自分たちのグループの意図が分かるように発表資料の作成に取り組ませていきたい。その際、個人情報の大切さや著作物利用のマナーに触れながら収集した資料を利用するときの留意点について必要に応じて指導していく。また、個別の要望にこたえる形で、発表に合わせた効果的な発表資料の作成についても支援していきたい。さらに、グループ活動の中で、自分の役割を確実に果たすことの大切さと、互いに協力して発表資料を作成することの大切さを指導していきたい。

作成した発表資料をもとに、発表の意図が聞き手にうまく伝わるように「発表原稿を作ろう」では、実際の発表を意識した原稿作成に取り組ませたい。そのうえで、「発表練習をしよう」では、相互評価を取り入れ、よりよい発表になるよう支援していきたい。

「発表を交流しよう」では、全部のグループが発表を行い、よさを交流し合うとともに、新たに生じた気付きを大切にしていきたい。また、学年での発表の後には、4年生を招いて、自分たちの取り組みについて伝え、来年へのアドバイスという視点を加えて発表させていく。

「学習をふり返ろう」では、学習のまとめとして自己の取り組みの姿勢と自己の高まりを実感させ今後の学習への意欲を高めていきたい。

### 3 単元の目標

#### < 関心・意欲・態度 >

「ミニお米物知り博士」発表会に向けて意欲を持つことができる

発表資料作成に向けて、自分の役割を果たすことができる

他のグループの発表を主体的に聞き、感想を持つことができる（L ）

#### < 思考・判断 >

自分たちの興味・関心、発表内容に合わせて発表資料の作成方法を選択することができる（L ）

発表の意図が分かるように、発表資料をまとめることができる（L 、L ）

聞き手に分かりやすい発表を工夫して、練習に取り組むことができる（L 、L ）

単元の学習をふり返って、学んだことや友達のよさを感想としてもつことができる（L ）

#### < 表現・処理 >

コンピュータや新聞・パネルなどの発表資料作成の方法を身に付けることができる（L 、L 、L ）

コンピュータや新聞・パネルなどの方法で資料をまとめることができる（L 、L ）

発表原稿を作成することができる（L ）

自分たちの意図が分かるように発表することができる（L 、L ）

#### < 知識・理解 >

よりよい発表の仕方を理解することができる

資料の出典や個人情報に配慮して資料を作成することができる（M ）

他のグループの発表から、新たに気付いたことを自分の知識とすることができる（L 、M ）

（ ）内は、目標リストの項目

4 単元の指導計画と評価基準（15時間）

小単元	時間	評価基準や視点		努力を要する児童への支援
		関：関心・意欲・態度 思：思考・判断 表：表現・処理 知：知識・理解		
		おおむね達成	十分達成	
(1) 発表の方法を知ろう	1～2	思：自分たちの興味・関心、発表内容に合わせて発表資料作成の方法を選択することができる。	発表形態のよさと関連付けて、発表資料作成の方法を選んだ理由を書いている。	なぜ、その発表方法を選んだのか、問いかけることによって、児童の考えをはっきりさせる。  「うまくできるといいね」などの励ましにより、高まる自分を意識させる。  具体的な発表の仕方を説明し理解を図る。
		関：「ミニお米物知り博士」発表会に向けて意欲的な感想を記述することができる。	発表資料の構成などについて、見通しをもっている。	
		知：よりよい発表の仕方を理解する。	ふり返りカードに、よりよい発表と関連付けて今後の作業への意欲を記述している。	
(2) 発表資料の作り方を学ぼう	3～4	表：コンピュータや新聞・パネルなどの発表資料作成の方法を身に付けることができる。	発表方法を身に付け、友達に教えるなど協力的な姿勢が見える。	作り方の手順を示したプリントを提示し、それを確認しながら作成するよう助言する。
(3) 発表資料を作ろう	5～8	関：発表資料作成に向けて、自分の役割を果たすことができる。	自分の役割を果たし、よりよい発表資料を作成するための工夫などを提案している。	協力して作業にあたることの大きさに気付かせる。  発表資料の作成に向けて、聞き手を意識することの大きさに気付かせる。
		思：発表の意図が分かるように工夫して、発表資料をまとめることができる。		
		表：コンピュータや新聞・パネルなどの方法で資料をまとめることができる。		見た目が分かりやすく、工夫が生かされた発表資料になっている。
		知：資料の出典や個人情報に配慮して、資料を作成している。		資料の出典や個人情報への配慮を友達に指摘することができる。
(4) 発表原稿を作成しよう	9～10	表：資料「発表原稿の書き方」を参考にして、発表原稿を完成することができる。	資料「発表原稿の書き方」のすべての項目に配慮し、発表原稿を完成することができる。	資料「発表原稿の書き方」の項目の意味を説明し、記述するよう助言する。
(5) 発表練習をしよう	11～12	思：聞き手に分かりやすい発表を工夫して、練習に取り組んでいる。	発表の仕方をふり返って、よりよい発表にしようと友だちに働きかけている。	チェックシートをもとに、発表の仕方を考えさせる。
(6) 発表を交流しよう	13～14	表：自分たちの意図が分かるように発表することができる。	身体表現を加え、内容に軽重をつけながら発表している。	よい発表を紹介するなどして、自分達の発表をふり返るようにさせる。  新しい気付きや疑問点などを感想に書くよう助言する。
		関知：他のグループの発表を主体的に聞き、新たな気付き、感想をもつことができる。	発表にたいして質問や感想を述べるなどして、意見を交流することができる。	
(7) 学習をふり返ろう	15	思：単元の学習をふり返って、学んだことや友達のを感想としてもつことができる。	単元の学習をとおして、自他の成長に気付き、次の学習に対しての思いを記述することができる。	学習をとおして気付いたこと、学んだこと、出来るようになったこと、友達のをよさなど学習の感想を書くための具体的な視点を確認する。

5 展開

(1) 第1次『発表の方法を知ろう』(2時間)

本時のねらい

- 自分たちの興味・関心、発表内容に合わせて発表資料の作成方法を選択することができる
- ・L ...問題解決や表現活動、情報収集の手段として情報手段の活用が有効であることが分かる
- 「ミニお米物知り博士」発表会に向けて意欲を持つことができる
- よりよい発表の仕方を理解する

本時の展開

	学 習 活 動	指導上の留意点	目標リスト
導入 10分	1 「ミニ米の物知り博士になろう」の意図について理解する 2 本時の課題を把握する 学習のまとめる方法を考えよう	今後の学習の見通しをもたせる(今までの調べ学習をまとめ、発表会をもつこと)	
展開	3 よりよい発表資料の条件・発表の仕方について理解する <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p style="text-align: center;">&lt;よい発表資料&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・何を伝えたいのか(目的)</li> <li>・聞き手に合わせる(相手)</li> <li>・必要な資料の選択(選択)</li> <li>・ていねいさ</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p style="text-align: center;">&lt;よい発表の仕方&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・聞きやすさ(声の大きさ・はっきりした言葉・スムーズな進行など)</li> <li>・身体表現</li> <li>・発表者の態度</li> </ul> </div> </div> 4 発表の方法について理解する (1) 新聞を使った発表 (2) パネルを使った発表 (3) コンピュータによる発表 (4) その他 5 それぞれの発表のよさについて話し合う (1) 新聞のよさ <ul style="list-style-type: none"> <li>・掲示すれば何度でも見ることができる</li> <li>・比較的簡単にできる</li> <li>・文字と写真・絵などを使って、紙面を工夫することができる</li> <li>・読むことで内容が分かる</li> <li>・大きさをいろいろ選べる</li> </ul> など (2) パネルのよさ <ul style="list-style-type: none"> <li>・見せたいものを強調することができる</li> <li>・分担して仕事ができる</li> <li>・時間がかからない</li> </ul> など (3) コンピュータのよさ <ul style="list-style-type: none"> <li>・間違いの修正が簡単</li> <li>・大きく提示できる</li> <li>・Web上で見ることができる</li> <li>・写真や図を簡単につけることができる</li> </ul> など	知 <b>発表・ふり返しカード</b>  教師側から、発表の方法とそのよさに触れながら提示していく  L  話し合いをとおして、それぞれの発表方法のよさに気付かせる  思 <b>発表・ふり返しカード</b> 発表の方法について、グループなりの根拠をもって選択するようにさせる	
70分	6 自分でやりたい発表の方法を考え、カードに記入する(5分) 7 グループごとに発表の方法を選択する (1) グループごとに話し合う(10分) (2) 決まったものを発表する		
終末 10分	8 学習をふり返って感想を書く	関 <b>ふり返しカード</b>	

(2) 第2次『発表資料の作り方を学ぼう』(2時間)

本時のねらい

コンピュータや新聞・パネルなどの発表資料作成の方法を身に付けることができる

- ・L ...目的や意図に合わせて、事柄に軽重を付けることができる
- ・L ...プレゼンテーションソフトを使って、学習したことをまとめることができる
- ・L ...マルチメディアを統合して処理することができる
- ・L ...自分の意図が分かるように、話したりかいたりすることができる
- ・L ...文字、音声、静止画、動画などをデジタルデータとして効果的に加工することができる
- ・L (L ) ...ローマ字入力が必要な文章や単語を入力することができる

本時の展開

	学 習 活 動	指導上の留意点	目標リスト
導入 5分	1 本時の課題を把握する 発表資料の作り方を身に付けよう。	・グループで決めた、まとめ方に合わせてそれぞれの教室に移動する	
展開 75分	2 まとめ方について学習する  <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; text-align: center;">ア、 コンピュータグループ</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; text-align: center;">イ、 新聞グループ</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; text-align: center;">ウ、 パネルグループ</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; text-align: center;">エ、 その他のグループ</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">↓</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">プレゼンテーションソフトの基本操作について学習する。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">計画書をもとに、発表資料作成の構想を話し合う。</div> </div>	<よい発表資料> ・発表の意図が分かること ・聞き手に合わせた内容 ・必要な資料の選択 ・ていねいさ など <発表の仕方> ・聞きやすさ (声の大きさ、はっきりした言葉、スムーズな進行) ・身体表現 ・発表者の態度 など  <b>表 観察・ふり返りカード</b>	L L L
終末 10分	3 学習をふり返って感想を書く  4 次時の予告をする	・次の時間から、発表資料の作成にはいること ・シナリオをグループごとに作成していること	

(3) 第3次『発表資料を作ろう』(4時間)

本時のねらい

発表資料作成に向けて、自分の役割を果たすことができる

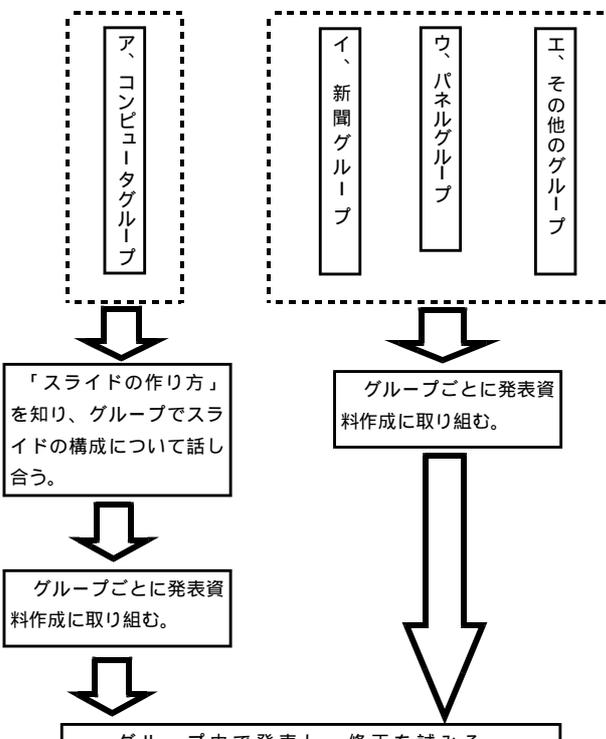
発表の意図が分かるように工夫して発表資料にまとめることができる

- ・L ...目的や意図に合わせて、事柄に軽重を付けることができる
- ・L ...自分の意図が分かるように、話したりかいたりすることができる
- コンピュータや新聞・パネルなどの方法で資料をまとめることができる
- ・L ...マルチメディアを統合して処理することができる
- ・L ...文字、音声、静止画、動画などをデジタルデータとして効果的に加工することができる
- ・L (L ) ...ローマ字入力が必要な文章や単語を入力することができる
- ・L ...課題解決の道具として、情報手段を適切に活用することができる

資料の出典や個人情報に配慮して資料を作成する大切さが分かる

- ・ M ...個人情報の大切さが分かる
- ・ M ...他の人が作成したものには、著作権があり、無断で使ってはいけないことが分かる

本時の展開

	学 習 活 動	指導上の留意点	目標リスト		
導入 5分	1 本時の課題を把握する 発表の意図をはっきりさせた発表資料を作ろう。	グループごとに決めた、まとめ方に合わせてそれぞれの教室に移動させる			
展開	2 よい発表資料の条件について確認する <よい発表資料> ・何を伝えたいか分かること(目的) ・聞き手に合わせた内容(相手) ・必要な資料の選択(選択) ・見やすいこと など  3 発表資料の作成に取り組む 	図書やインターネットから収集した画像等は、著作権に配慮させる  <b>関 観察・自己評価</b> <b>思表 作品</b>  資料は出典を明らかにするようにする <b>知 観察・作品</b> コンピュータグループには、「スライドの作成方法」が分かる資料を用意する  修正の観点 ・誤字脱字 ・文字の大きさ、色使い ・資料は適切か	L L L  情報モラルについては、具体的な場面でも指導する。  M		
85分 展開	4 資料作成の留意点を再確認し、発表資料を作成する <table border="1" data-bbox="223 1635 829 1904"> <tr> <td><b>パネル・新聞グループ</b> 文字色について 文体の統一 資料について ・資料の大きさ ・出典</td> <td><b>コンピュータグループ</b> 保存するとき ・ネットワークフォルダ ・グループ名と氏名をつける 文字サイズの変更 不要な部分の切り取り 画面の統一感 インターネットの資料の貼り付け</td> </tr> </table>	<b>パネル・新聞グループ</b> 文字色について 文体の統一 資料について ・資料の大きさ ・出典	<b>コンピュータグループ</b> 保存するとき ・ネットワークフォルダ ・グループ名と氏名をつける 文字サイズの変更 不要な部分の切り取り 画面の統一感 インターネットの資料の貼り付け	機会を見て、工夫されている資料を紹介する <b>関 観察・自己評価</b> <b>思表 作品</b> 具体的な場面をとらえて、資料の出典を明らかにするよう指導する <b>知 観察・作品</b>	L L L
<b>パネル・新聞グループ</b> 文字色について 文体の統一 資料について ・資料の大きさ ・出典	<b>コンピュータグループ</b> 保存するとき ・ネットワークフォルダ ・グループ名と氏名をつける 文字サイズの変更 不要な部分の切り取り 画面の統一感 インターネットの資料の貼り付け				
80分 終末	5 学習をふり返って感想を書く				
10分	6 次時の予告をする				

(4) 第4次『発表原稿を作成しよう』(2時間)

本時のねらい

発表原稿を作成することができる

・L ...自分の意図が分かるように、話したりかいたりすることができる

本時の展開

	学 習 活 動	指導上の留意点	目標リスト
導 入 3 分	1 本時の課題を把握する 聞き手に分かりやすい発表原稿を作成しよう。		
展 開	2 発表資料の書き方を理解する 書き出しの工夫 実際に話すように書く 一文を短くする 主語と述語がねじれないようにする 文末をそろえる 誤字脱字に気をつける 難しい言葉は言い換えたり、説明を加える 制限時間を守る (原稿1枚で1分~1分15秒)	評価カードを配布して、それを参考にして書くようにさせる	
80 分	3 発表資料作成と発表原稿作成に取り組む 発表資料作成が終了したグループから、発表原稿作成に取り組む  発表原稿を書き終えた児童は、「発表原稿の書き方」の表を使ってチェックする その上で、友達から評価してもらい推敲し、修正したものをグループ内で最終チェックを行う	<b>関 観察・発表原稿</b>  パソコングループには、グループ全員のスライドが完成したら、スライドを「つなげる」ことと、発表の設定について指導する	L
終 末 7 分	4 活動をふり返って感想を書く		

(5) 第5次『発表練習をしよう』(2時間)

本時のねらい

聞き手に分かりやすい発表を考えて発表練習を行うことができる

- ・ L ...学習のまとめや調べたことをプレゼンテーションソフトを使って発表することができる
- ・ L ...自分の意図が分かるように、話したりかいたりすることができる

本時の展開

	学 習 活 動	指導上の留意点	目標リスト
導 入 5 分 展 開	1 本時の課題を把握する <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                     分かりやすい発表になるように練習をしよう。                 </div>		
	2 よい発表の仕方について確認する <発表の仕方> ・聞きやすさ (声の大きさ、はっきりした言葉、スムーズな進行) ・身体表現 ・発表者の態度                      など <発表の順番> ・次時に発表する班を連絡する	聞き手を意識して、発表することをおさえさせる  コンピュータグループは、モニタ上で発表してからプロジェクタで発表練習を行うようにさせる	
	3 グループごとに発表練習に取り組む	発表資料・原稿を完成できていない児童は、そちらの完成を優先させる チェック表を用いて、よりよい発表になっているかグループごとに確認させる  <b>思 観察・自己評価</b>	L L
75 分 終 末 10 分	4 学習をふり返って感想を書く		

(6) 第6次『発表を交流しよう』(2時間)

本時のねらい

自分たちの意図が分かるように発表することができる

- ・ L ...学習のまとめや調べたことをプレゼンテーションソフトを使って発表することができる
  - ・ L ...情報を加工したものをホームページ等に発信することができる
  - ・ L ...メディア(新聞・放送)を使って、情報を発信することができる
  - ・ L ...自分の意図をはっきりさせて話すことができる
- 他のグループの発表を主体的に聞き、新たな気付き、感想をもつことができる
- ・ L ...自分の意図が分かるように、話したりかいたりすることができる
  - ・ M ...情報を与えてくれた人に感謝の気持ちを表すことの大切さが分かる

本時の展開

	学 習 活 動	指導上の留意点	目標リスト
導 入 5 分	1 本時の課題を把握する <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                     ミニお米の物知り博士の知識を交流しよう。                 </div>	今までの学習の成果を発表する場面であることを確認し、学習への意欲をもたせる	

展 開	2 発表会の約束について話し合う ・よい発表の仕方 ・聴き方 ・意見の交流の仕方 ・時間と進行について（発表時間は5分） はじめの言葉 発表 質問 感想意見 終わりの言葉	第1次の学習をふり返り、 よい発表の条件を確認し 合う	
	3 発表会を行う ・2つのグループに分けて発表する 1日目～1班から8班 2日目～9班から15班	聞き手に、感想記入用の カードを用意し、発表を 主体的に聞くようにさせ る <b>表 観察・自己評価・話し 合い</b>	L L
75 分 終 末 10 分	4 感想を発表し合う		M
	5 学習をふり返って自己評価を行う	<b>関知 自己評価</b>  Webページへの発信につい ては、検討する	L

(6) 第7次 『学習をふり返ろう』（1時間）

本時のねらい

単元の学習をふり返って、学んだことや友達のよさを感想としてもつことができる

- ・L ...問題解決や表現活動、情報収集の手段として情報手段の活用が有効であることが分かる

本時の展開

	学 習 活 動	指導上の留意点	目標リスト
導 入 5 分	1 本時の課題を把握する 「ミニ米の物知り博士になろう」の学習をとおして、学んだことを感想に書こう。		
展 開	2 書く視点を明確にする ・学んだこと、分かったこと ・友だちのよさ ・活動の楽しさ ・自己の成長 ・次の学習への意欲 など	<b>思 作品・発表</b>	L
35 分 終 末 5 分	3 事後アンケートを記入する		
	4 次時予告		



# ふり返りカード

組	番	氏名
---	---	----

1 あなたは、どの方法で発表する資料を作りたいと思いますか。その、理由も書きましょう。

発表方法

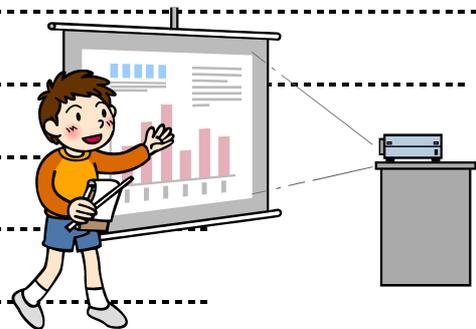
(理由)

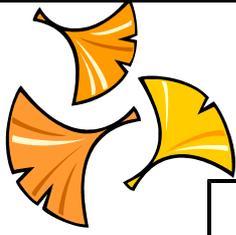
2 グループで話し合っ、どの方法で発表することになりましたか。

発表方法

(理由)

3 今日の学習をふり返って感想を書きましょう。  
(分かったこと、友達のよさ、がんばったこと、今後がんばりたいこと、気付いたことなど)





# ふり返しカード

	組		番	氏名	
--	---	--	---	----	--

1 あなたのグループの選んだ発表の方法は何ですか。

2 発表資料の作り方が分かりましたか。自分の考えにちかいものに をつけましょう。

ア 分った

イ だいたい分かった

ウ あまり分らない

エ 分らない

3 「発表資料の作り方を学ぼう」を学習した感想を書きましょう。  
(分ったこと、がんばったこと、今後がんばりたいこと、気付いたこと、友達のよさなど)

.....

.....

.....

.....

.....

.....









# 総合 学習シート

組	番	氏名
---	---	----

各グループの発表を聞いて、分かったことや気づいたこと、ぎもんに思ったことなどを書きましょう。そして、感想を発表しましょう。

グループ	分かったこと・気づいたこと・ぎもんに思ったこと
1班	
2班	
3班	
4班	
5班	
6班	
7班	
8班	
9班	
10班	
11班	
12班	
13班	
14班	
15班	

